

沖縄工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	科学技術文章
科目基礎情報						
科目番号	5002		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	情報通信システム工学科		対象学年	5		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	『知的な科学・技術文章の書き方』中島利勝・塚本真也著・コロナ社					
担当教員	網谷 厚子					
到達目標						
" 1 科学技術文章のルールについての理解を深めコミュニケーション力を発揮できるようになる。 2 科学的「論文」の具体的な構成・記述手順等の基本形式について習熟する。 3 図・表の表現法・活用法について基礎的知識を身につける。 【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】【Ⅷ-C】【Ⅷ-D】【Ⅷ-E】【X-A】 "						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1科学技術文章基本的なルールについての理解を深め活用することができるようになる。 (②③同じ、機械・A-1、情報・C-3、メディア・C-4、生物・B-1.C-2)	科学技術論文のルールに熟知し、独創的な自らの考えを長文の小論文で表現することができる。		科学技術論文のルールにのっとり、自らの考えを長文の小論文で表現することができる。		科学技術文章のルールを理解し、概ねそこから外れないように、長文の小論文に取り組むことができる。	
評価項目2図・表の表現・活用法についての基礎的知識を身につける。	図・表についての基本的な知識を身につけ、場面に応じて柔軟に活用することができる。		図・表についての基本的知識を身につけ、適切に使用することができる。		図・表についての基本的知識を身につけている。	
評価項目3						
評価項目4						
評価項目5						
学科の到達目標項目との関係						
教育目標 本科－ 1 教育目標 本科－ 2 教育目標 本科－ 4						
教育方法等						
概要	1 科学的「論文」の基本形式を学ばせ、自ら書かせることにより、方法についての運用能力を高めさせる。 2 図・表の名称・スタイル・表現法について学ばせ、活用能力を高めさせる。 3 自ら考え表現することについて、独創的にできるように多くの課題を設定する。"					
授業の進め方・方法	・教科書を用いて、アカデミック・ライティングの基本を身に付ける。 ・論理的思考力・表現力の育成のため、長文の小論文(3200字文)も作成する。 ・プレゼンテーションを実施しインパクトのある作品を創造する。					
注意点	・課題も五つ出るので必ず期日までに提出する。					
授業計画						
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標	
		1週	科学技術論文を書くための留意点		論文を書くための基本的知識を身につける。【Ⅲ-A】	
		2週	実験レポートと卒業論文の体裁		各種レポート・論文の体裁について理解する。【Ⅲ-A】	
		3週	科学技術「論文」の構成		論文の基本的構成・執筆手順について学ぶ。【Ⅲ-A】	
		4週	実験方法等の表現法		説得力ある実験方法の実際について認識を深める。【Ⅷ-D】【Ⅷ-E】	
		5週	実験結果・考察・検討等の書き方		論文の各種構成要素について理解させる。【Ⅷ-C】	
		6週	緒論と結論の書き方		効果的な緒論・結論の表見について磨く。【Ⅲ-A】	
		7週	論文題目・参考文献等の留意点		論文題目の立て方・参考文献の示し方に習熟する。【Ⅷ-A】	
	8週	中間テスト		上記の内容の理解を評価する		
	2ndQ	9週	プレゼンテーションの技術		基本的なプレゼンテーションの技術に習熟する。【Ⅷ-A】	
		10週	プレゼンテーション作品の創作		PPTを作成し、効果的かつ独創的な表現法について習熟する。【Ⅲ-A】	
		11週	プレゼンテーションの実際		プレゼンテーションし相互評価させ、技法を身につかせる。【Ⅷ-A】	
		12週	作図・作表のルール①		作図・作表の諸相・様々な方法について学ぶ。【Ⅷ-C】	
		13週	作図・作表のルール②		同上	
		14週	「科学技術「論文」の作成		主題・構成を独自に工夫させ、独創性を発揮する。【Ⅷ-A】【Ⅷ-E】【X-A】	
		15週	「科学技術「論文」の推敲		長文論文を完成する。【Ⅲ-A】【Ⅷ-E】【X-A】	
16週						
評価割合						

	試験50	小テスト	レポート50				合計
総合評価割合	100	0	20	0	0	0	120
基礎的能力	50	0	10	0	0	0	60
専門的能力	50	0	10	0	0	0	60
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0